

## 編集後記

『マレーシア研究』の第1号がやっと刊行できました。本号は、本来2010年度の刊行を予定していましたが、刊行が1年延びてしまいました。原稿提出後、長らくお待ちいただいた執筆者の方々、また創刊号の発行を長らく心待ちにしてくださっていた会員のみなさんに、編集委員長として深くお詫び申し上げます。

創刊号となる本号では、「論説」として、経済学、政治学、文化人類学の各分野で研究実績豊富な3人の会

員に論文をご寄稿いただきました。また、査読過程を経て採用可となった投稿論文3編を「研究ノート」として掲載しました。さらに書評1編と35名の会員による44編のエッセイを載せました。各執筆者のみなさんにはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。(金子芳樹)

〔編集委員会〕

金子芳樹(委員長)、穴沢真(副委員長)、山本博之

## 第2号の投稿募集

2012年度発行の第2号への投稿を募集します。下記の投稿要領およびJAMSウェブサイトに掲載されている募集要領に沿って原稿をお送りください。

・第2号掲載分の締め切り：2012年10月30日

・投稿先：編集委員会

(malaysia\_studies@jams92.sakura.ne.jp)

## 投稿要領

『マレーシア研究』は日本マレーシア学会の会誌であり、広い意味での「マレーシア研究」に関する論説、研究ノート、書評論文、および書評を掲載する。刊行は1年に1回とし、投稿は随時受け付ける。

1. 投稿資格：会費を納めた会員および編集委員会が依頼した執筆者とする。
2. 投稿内容：未発表のものに限る。ただし、学会、研究会での口頭発表はこの限りではない。また、同一の原稿を本誌以外に同時に投稿することはできない。
3. 使用言語：投稿原稿で使用できる言語は日本語とする。ただし、注記などにおいてはその他の言語を使用できる(日本語・アルファベット以外の文字を使う場合は編集部にご相談すること)。また、採用された原稿については英文要旨を併せて掲載する。
4. 原稿の種類：論説、研究ノート、書評論文、書評の4種類とする。投稿原稿の枚数は40字×30行を1枚と換算して、論説が15～20枚、研究ノートが10～20枚、書評論文が5～10枚、書評が2～5枚とする(いずれも注・図表・参考文献を含む)。原稿に挿入される図表については、大小にかかわらず3点を1枚と換算する。
5. 執筆要領：投稿に際しては、本学会のホームページ

- に掲載された「執筆要領」に準拠した完成原稿を提出する。また、論説、研究ノート、および書評論文については、論文要旨(1200字程度)を提出する。
6. 査読制度：投稿された原稿は、レフェリーによる審査結果を考慮の上、編集委員会が採否を決定する。
7. 英文要旨：採用された場合には約400語の英文要旨を提出する。英文要旨は提出前にネイティブ・チェックを受ける。ネイティブ・チェックにかかる経費は投稿者が負担するものとする。また、編集委員会が必要と考えた場合、同委員会は投稿者の経費負担によりネイティブ・チェックをかけることがある。
8. 著作権：本誌に掲載されたすべての原稿の著作権は日本マレーシア学会に帰属する。なお、原著者が本誌に掲載された文章を他の出版物に再録しようとする場合には、編集委員長に申請し許可を得る。
9. ホームページ上の公開：『マレーシア研究』に掲載されたすべての原稿は、日本マレーシア学会のホームページにて公開する。
10. 投稿先：投稿先および問い合わせ先は下記のとおりとする。なお、投稿に際して、投稿者は、氏名(ふりがな)、所属、連絡先の住所・電話番号・E-mail

アドレス、投稿題目、原稿の種類を明記する。

## 『マレーシア研究』第1号

発行：2012年3月31日

発行者：日本マレーシア学会

(ウェブサイト) <http://jams92.org/>

(連絡先) 〒606-8501 京都府京都市左京区吉田下阿達町46

京都大学地域研究統合情報センター 山本博之研究室

発行責任者：宮崎恒二

編集責任者：金子芳樹

## Malaysian Studies Journal

Vol. 1 (March 31, 2012)

Editorial Office: Japan Association for Malaysian Studies

(JAMS), c/o YAMAMOTO Hiroyuki, Center for Integrated

Area Studies, Kyoto Univ., 46 Shimoadachi-cho, Yoshida,

Sakyo-ku, Kyoto, 606-8501, Japan.

Website: <http://jams92.org/>